

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動室・勉強室に分かれており 十分なスペースを確保している	
	②	職員の配置数は適切である	○		基準以上の職員配置を行っている 専門的支援を実施すべく理学療法士を 配置している	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		事業所入り口にスロープを配置し 階段には全て手摺りを設置している	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員 が参画している	○		支援の内容を職員全員が把握し常に振 り返りを行い情報共有を行っている	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意 向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート調査結果を把握し業務改善 を行うとともに保護者との共有を図っ ている	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて年度ごとの公表を 行っている	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間の受講スケジュールを策定し、定 期的に研修に参加する機会を設けてい る	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した 上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一回以上のアセスメントを行い 計画を見直している	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用 している	○		アセスメント表を活用し半年ごとの状 況確認を行っている	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフと利用者がグループを構築し 活動を進めている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者の意見・希望も取り入れ新しい 分野へのチャレンジを進めている	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		放課後・学校休日等を意識した活動項 目を設定している	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイ サービス計画を作成している	○		利用者の特性・課題・年齢などを考慮 し計画を立案している	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担 について確認している	○		毎日のミーティングを実施し支援内 容・役割について確認を行いと共に掲 示による確認もできるようにしている	
関係機 関や保 護者 との 連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有している	○		終業時または翌日に必ず振り返りを行 い情報共有・改善を進めている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげ ている	○		日々の支援内容を個人記録等記録を残 し電子化したデータとして残すことで 振り返りも進めやすくしている	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判 断している	○		定期的モニタリング・面談を行ってい る スケジュールをシステムにて管理 し適切な時期に行えるようにしている	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインの総則のもと、支援を 行っている	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	○		定期的な相談支援員との連携・情報共 有を行っている	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校と情報の共有を行い各担任の先生 ともしっかりと連携を図っている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えている	○		現在、医療的ケアの必要な利用者の登 所はないが主治医との連絡体制は構築 している	
保護者 への 説明 責任 等	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等 との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者との面談の中で確認が必要と判 断された場合実施している	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談支援員と情報共有を行い必要に応 じた連携を図っている 必要とあれば事後訪問も行っている	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	○		定期的研修に参加している	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		市民センターの活動等に参加を進めて いる	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	○		保護者と状況や課題について密に連携 共有を行っている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニン グ等の支援を行っている	○		必要に応じ相談支援員を含めて支援を 行っている	
非常時 等の 対応	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		書面にて綿密な説明に努めている	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	○		面談時を含めしっかりと助言と必要な 支援を行っている	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	○		保護者会を開催し情報提供および保護 者間での情報交換を実施している	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情・要望について管理者を中心に情 報を集約し対応を進めている	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	○		活動内容・イベント開催・連絡を電子 化システム・LINE等で常に発信を行っ ている	
	㉟	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取扱いについて最重要項目 ととらえ管理を行っている	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用者の特性・性格・状況を把握し支 援を進めている	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	情報の発信を行っているが交流までは 至っていない	
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員 や保護者に周知している	○		マニュアルの作成と合わせ定期的アッ プデートを進めている 保護者へもシ ステムを通じて共有を行っている	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		台風・大雨・火災・地震を想定し避難 訓練や模擬的経験ができるようスケ ジュールに沿って活動を進めている	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的研修への参加と社内展開により 職員全体への共有を測り適切な対応へ つなげている	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子ど もや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載している	○		身体拘束は行っていない 身体拘束についても社内研修等で情報 の共有展開を行い適切な対応につなげ ている	
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーへの確認は保護者とも情報 を綿密に共有し対応を行っている	
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの事例を共有しミーティ ングの場等で説明・理解を深めている	

○この「事業者における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。